追加資料４－１

鳥取市の地域分析について

2018年7月30日（月）
鳥取市地域福祉計画・活動計画作成委員会

鳥取大学　竹川俊夫

人口動態から見た鳥取市の特徴

（1）総人口及び地域別人口

本市の人口は、平成 29 年３月末日現在 190,139 人であり、平成 24 年から約 3,600 人の減少となっており、近年、緩やかに人口の減少が進行しています。

また、１世帯あたりの人口数を示す世帯人員は、平成 24 年の 2.54 人から平成 29 年で 2.40 人となっており、本市でも小家族化傾向がうかがえます。

【人口・世帯数の推移】

			平成 24 年			平成 29 年			人口増減率(%)	世帯数増減率(%)
			人口	世帯数	世帯人員	人口	世帯数	世帯人員		
鳥取市全体			193,774	76,225	2.54	190,139	79,121	2.40	−1.9	3.8
	鳥取地域		147,850	60,477	2.44	147,397	63,035	2.34	−0.3	4.2
		旧鳥取市	147,850	60,477	2.44	147,397	63,035	2.34	−0.3	4.2
	東部地域		11,850	4,147	2.86	11,437	4,329	2.64	−3.5	4.4
		旧国府町	8,653	3,128	2.77	8,445	3,294	2.56	−2.4	5.3
		旧福部村	3,197	1,019	3.14	2,992	1,035	2.89	−6.4	1.6
	南部地域		13,771	4,542	3.03	12,558	4,575	2.74	−8.8	0.7
		旧河原町	7,620	2,445	3.12	7,011	2,481	2.83	−8.0	1.5
		旧用瀬町	3,810	1,284	2.97	3,544	1,308	2.71	−7.0	1.9
		旧佐治村	2,341	813	2.88	2,003	786	2.55	−14.4	−3.3
	西部地域		20,303	7,059	2.88	18,747	7,182	2.61	−7.7	1.7
		旧気高町	9,185	3,166	2.90	8,753	3,295	2.66	−4.7	4.1
		旧鹿野町	4,141	1,426	2.90	3,763	1,433	2.63	−9.1	0.5
		旧青谷町	6,977	2,467	2.83	6,231	2,454	2.54	−10.7	−0.5

注：増減率は、平成 24 年を基準とした場合の平成 29 年の割合を示す。

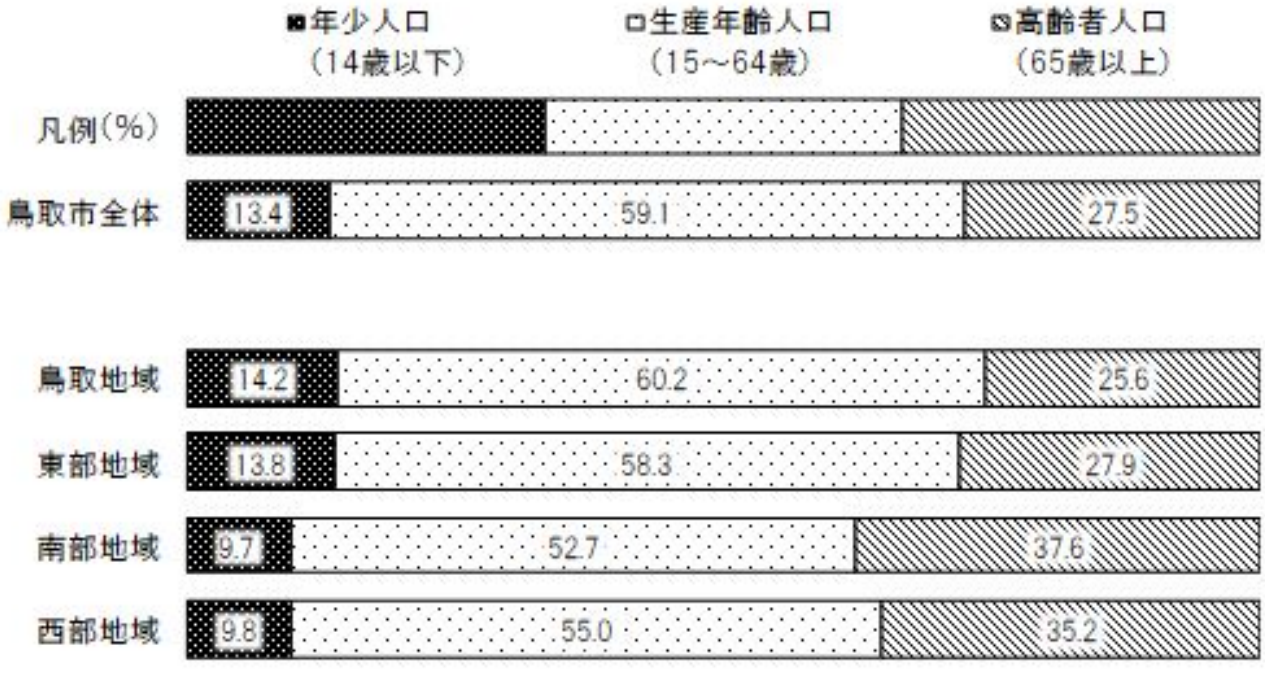
資料：住民基本台帳（各年3月末現在）（平成 24 年は外国人を含まないが、平成 29 年は外国人を含む。）

人口動態から見た鳥取市の特徴

（２）年齢別人口

本市の年齢別人口構成をみると、平成29年では年少人口（14歳以下）の割合が13.4%、生産年齢人口（15～64歳）が59.1%、高齢者人口（65歳以上）が27.5%となっています。また、南部地域及び西部地域では、他の地域に比べて年少人口が少なく高齢者人口が多い、少子高齢化の進行がうかがえます。

【年齢3区分別人口構成比】



資料：住民基本台帳（平成29年3月末現在）（外国人を含む。）

人口動態から見た鳥取市の特徴

旧市域の町別高齢化率（10世帯未満の町を除く上位74町）

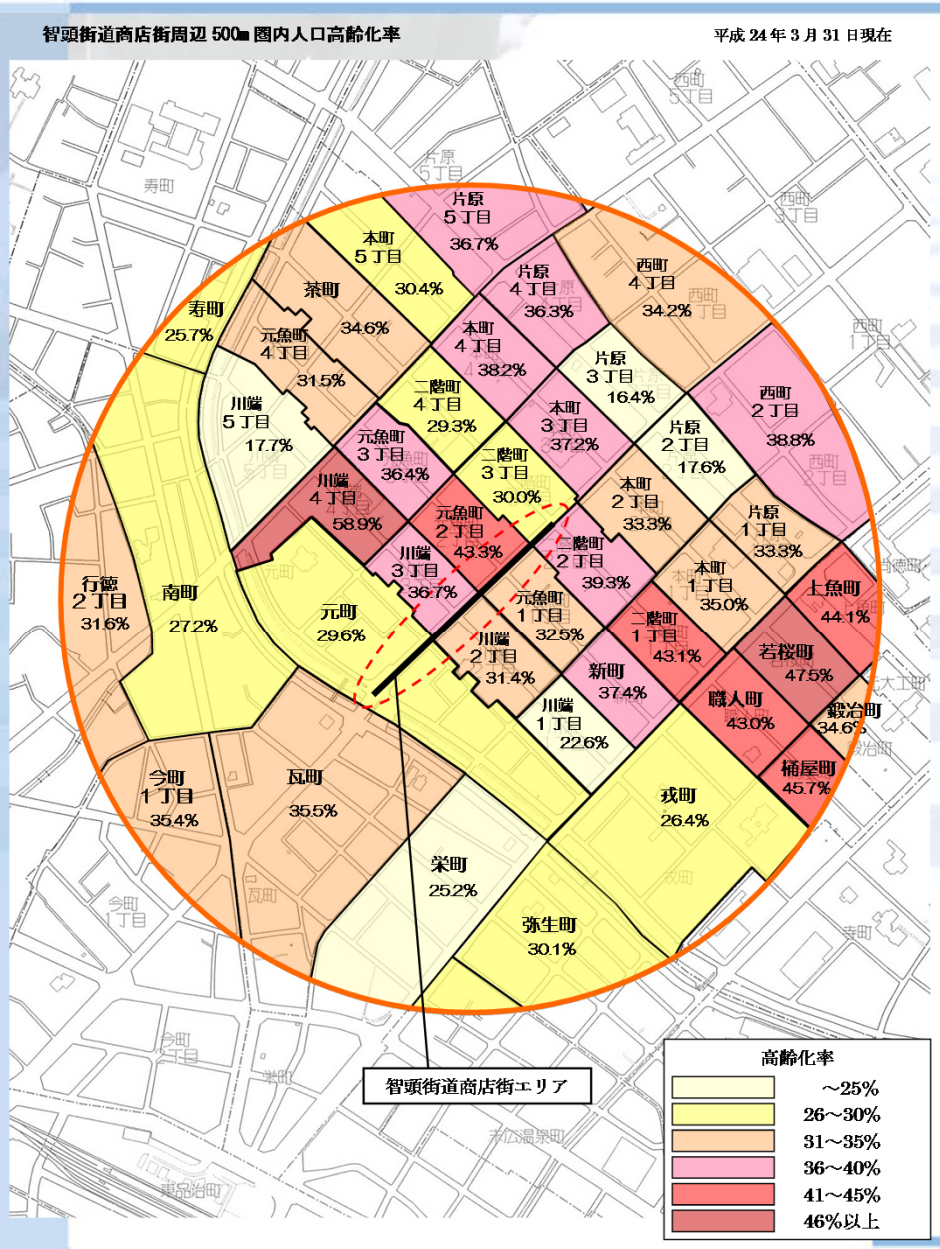
町名	高齢化率（%）	平均世帯人員（人）	
鳥取市計	28.1	2.36	
若葉台南四丁目	80.4	1.07	▼
赤子田	72.4	1.50	▼
川端四丁目	67.1	1.52	▼
大桷	65.8	1.50	▼
槇原	54.8	2.14	▼
元魚町二丁目	50.9	1.89	▼
桶屋町	50.5	2.21	▼
上魚町	50.0	2.11	▼
妙徳寺	50.0	2.00	▼
長柄	50.0	2.24	▼
河内	49.7	2.56	
岩坪	49.1	2.33	▼
金沢	49.0	2.57	
横枕	48.7	2.47	
祢宜谷	48.5	2.75	
野寺	48.3	2.07	▼
矢矯	48.0	2.38	
有富	47.5	2.36	▼
新町	45.4	2.11	▼
三山口	45.1	2.29	▼
美和	45.1	2.53	
香取	44.8	2.63	
百谷	44.6	2.11	▼
東大路	44.6	2.60	

町名	高齢化率（%）	平均世帯人員（人）	
上砂見	44.3	2.46	
卯垣三丁目	44.2	2.08	▼
双六原	43.5	2.70	
吉岡温泉町	43.5	2.16	▼
円通寺	43.5	2.56	
西今在家	43.3	2.91	
野坂	43.2	2.33	▼
菖蒲	43.1	2.76	
湖山町東四丁目	42.9	1.75	▼
洞谷	42.5	2.22	▼
東町三丁目	42.3	1.89	▼
服部	42.2	2.61	
広岡	42.0	2.56	
賀露町南六丁目	42.0	2.30	▼
御熊	41.9	3.10	
薬師町	41.8	2.50	
吉方温泉二丁目	41.3	2.07	▼
高住	41.2	2.39	
二階町一丁目	41.1	2.35	▼
朝月	40.9	2.68	
下砂見	40.9	2.83	
下段	40.9	2.34	▼
小沢見	40.8	2.38	
北村	40.7	2.32	▼
細見	40.7	2.57	

町名	高齢化率（%）	平均世帯人員（人）	
橋本	40.6	2.46	
瀬田蔵	40.6	2.67	
高路	40.6	2.42	
吉方町一丁目	40.5	2.11	▼
大畑	40.5	2.88	
職人町	40.3	2.08	▼
材木町	40.0	1.81	▼
賀露町北一丁目	40.0	2.39	
今町一丁目	39.9	2.11	▼
相生町一丁目	39.8	2.31	▼
生山	39.8	2.48	
掛出町	39.8	2.05	▼
福井	39.7	2.52	
元魚町三丁目	39.5	2.24	▼
紙子谷	39.5	2.88	
瓦町	39.4	1.89	▼
船木	39.3	2.62	
白兎	39.2	1.41	▼
立川町三丁目	39.1	2.06	▼
片原五丁目	39.1	2.31	▼
相生町四丁目	39.0	2.14	▼
今町二丁目	38.7	1.61	▼
川端三丁目	38.6	2.11	▼
古郡家	38.6	2.71	
立川町一丁目	38.5	2.29	▼

注）2018年6月30日現在の鳥取市住民登録データをもとに報告者作成

人口動態から見た鳥取市の特徴



◎中心市街地の高齢化の現状

智頭街道商店街周辺エリアの高齢化率は総じて高いが、局所的には10%台から60%台まで非常に多様である。

さらに平均世帯人員が少なく、独居化も進んでおり、高齢者等の支えを必要とする人々の社会的孤立が懸念される。

資料）中心市街地活性化協議会

人口動態から見た鳥取市の特徴

◎鳥取旧市域の地域類型分析（2012年時点）

地域類型	世帯数	人口	世帯人員	高齢化
中心市街地	微増	微減	減少。市内最少	高い（最高）
市街地	増加	微増	減少	平均以下
郊外・宅地	増加	微増	減少	平均以下
郊外・農村	微増	減少	急速に減少	高い
鳥取旧市域	増加	横ばい	減少	

＊鳥取市（旧市域）は、農村地域より中心市街地の方の高齢化が進んでいるのが特徴。平均世帯人員も減少の一途なので、支えを必要とする人への家族の扶養力の衰退が進んでいる。

＊自治連会加入率・老人クラブ会員数も減少傾向にあり、家族を補完する地域の力も、このままでは衰退の一途である。

人口動態から見た鳥取市の特徴

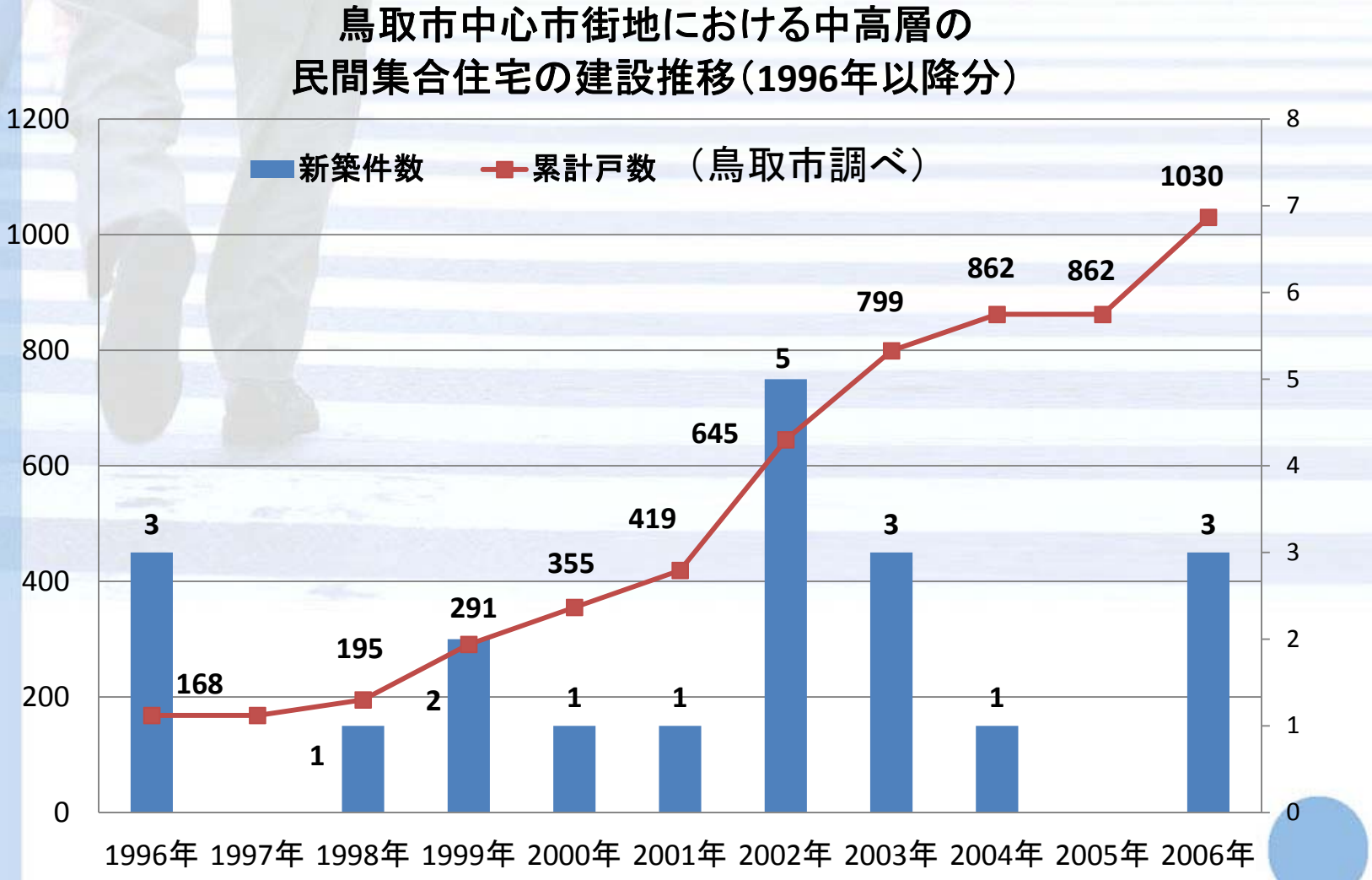
小田切徳美氏が指摘している農山村の空洞化論に中心市街地の現状を当てはめてみたら・・・（『農村再生』岩波書店、２００９年）

空洞化の種類	過疎地域	中心市街地
人の空洞化	◎人口減少（過疎化） ＊高度成長期以来、人口流出（社会減少）が問題になってきたが、近年は高齢化による自然減少へ	◎人口減少 ＊若年人口の郊外エリアや県外への流出と高い高齢化 ＊近年は中心市街地への人口回帰もスポット的に見られる
土地の空洞化	◎農林地の荒廃 ＝中山間地域問題 ＊農林業の担い手不足の結果として、耕作放棄地、農地潰廃、林地荒廃	◎商店街の衰退 ＊店主の高齢化と後継者不足 ＊郊外への大規模店舗の進出 ＊若者の商店街離れと空家・空店舗の増加（シャッター街化）
むら（コミュニティ）の空洞化	◎集落機能の脆弱化 ＝「限界集落」問題 ＊集落の自治機能が維持できなくなる	◎独居高齢者、障がい者や失業者・低所得者等の生活課題を抱える住民の増加や孤立化 ◎自治会加入者減少・活動停滞

さらに深層で進む、「誇りの空洞化」
＝地域住民がそこに住み続ける意味や誇りを見失いつつある

中心市街地の現状と課題

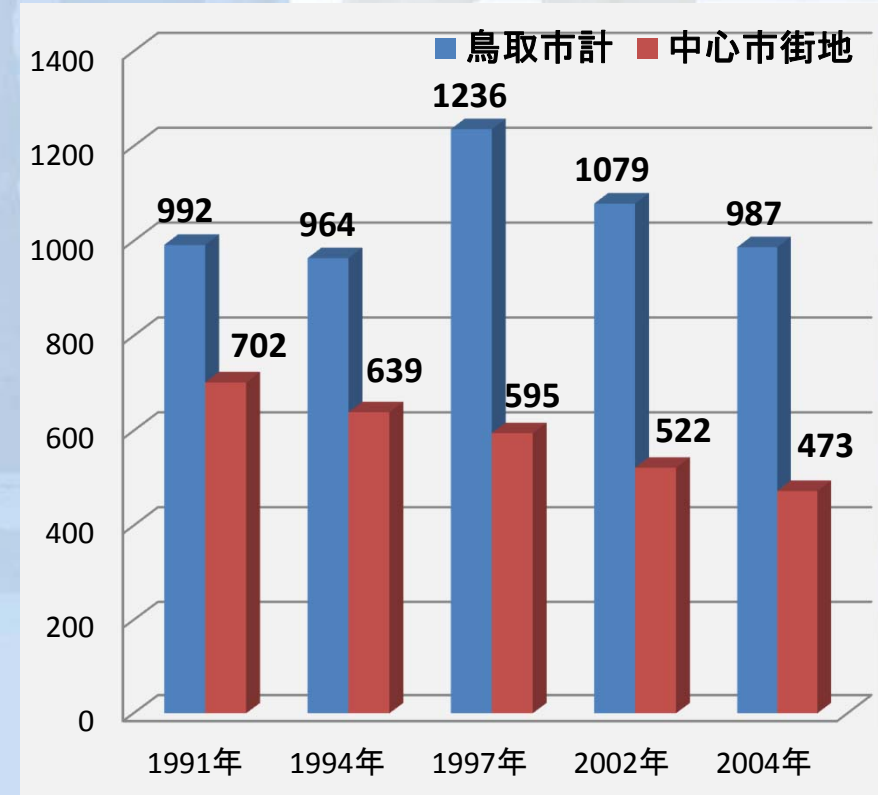
◎集合住宅の増加とコミュニティの希薄化



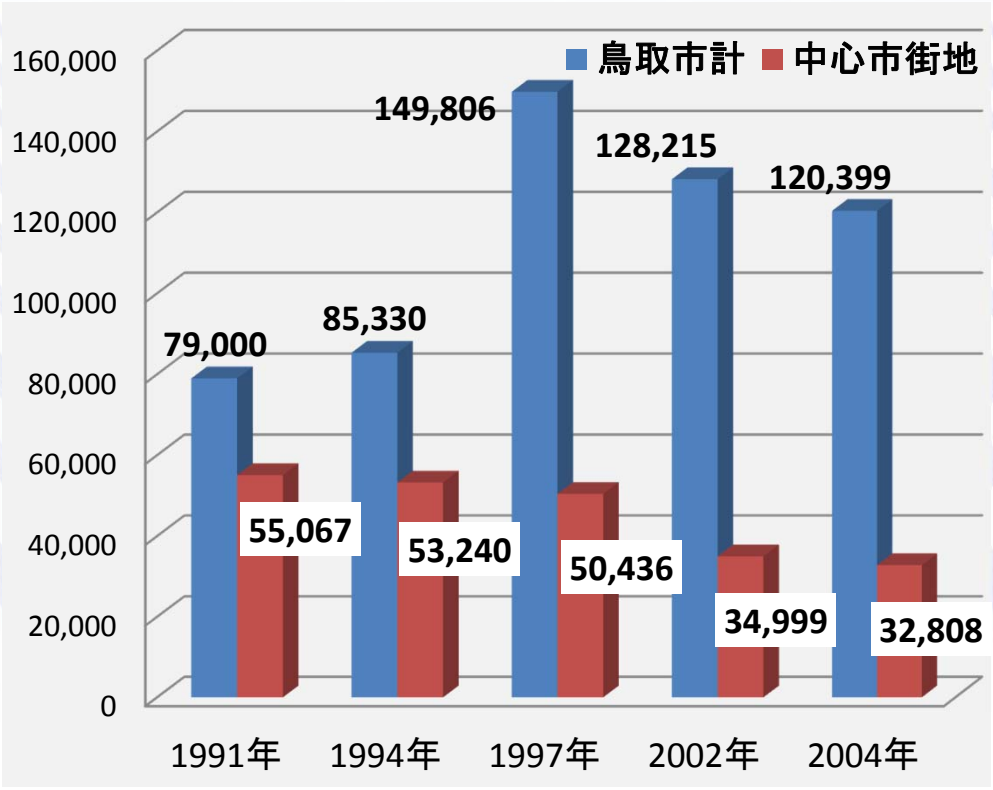
中心市街地の現状と課題

◎小売店の店舗数・年間販売額の減少

鳥取市の小売業商店数の推移（店）



鳥取市の小売業年間販売額の推移（百万円）



資料）鳥取市「中心市街地活性化基本計画」より
（基礎データは「商業統計表（立地環境特性別統計）」）

中心市街地の現状と課題

◎空き店舗や空き家の増加

中心市街地の空き店舗の状況（2007年6月現在）

	空き店舗数	割合（%）
鳥取本通商店街	9	15.0
若桜街道商店街	11	13.1
末広温泉町商店街	6	24.0
新町通商店街	2	7.1
新鳥取駅前地区商店街	12	10.1
鳥取二階町商店街	0	0.0
鳥取太平線通商店街	6	16.7
智頭街道商店街	4	6.9
瓦町商店街	5	10.6
合計	55	11.7

資料）鳥取市「中心市街地活性化基本計画」より（鳥取市調べ）

＊今後さらなる空き店舗・空き家の増加が懸念される

独居高齢者の生活課題

◎鳥取市富桑地区における生活課題調査
（2012年1月～2月）

（1）一般住民（575世帯）へのアンケート調査
575軒のうち有効回収464票／回収率80.7%

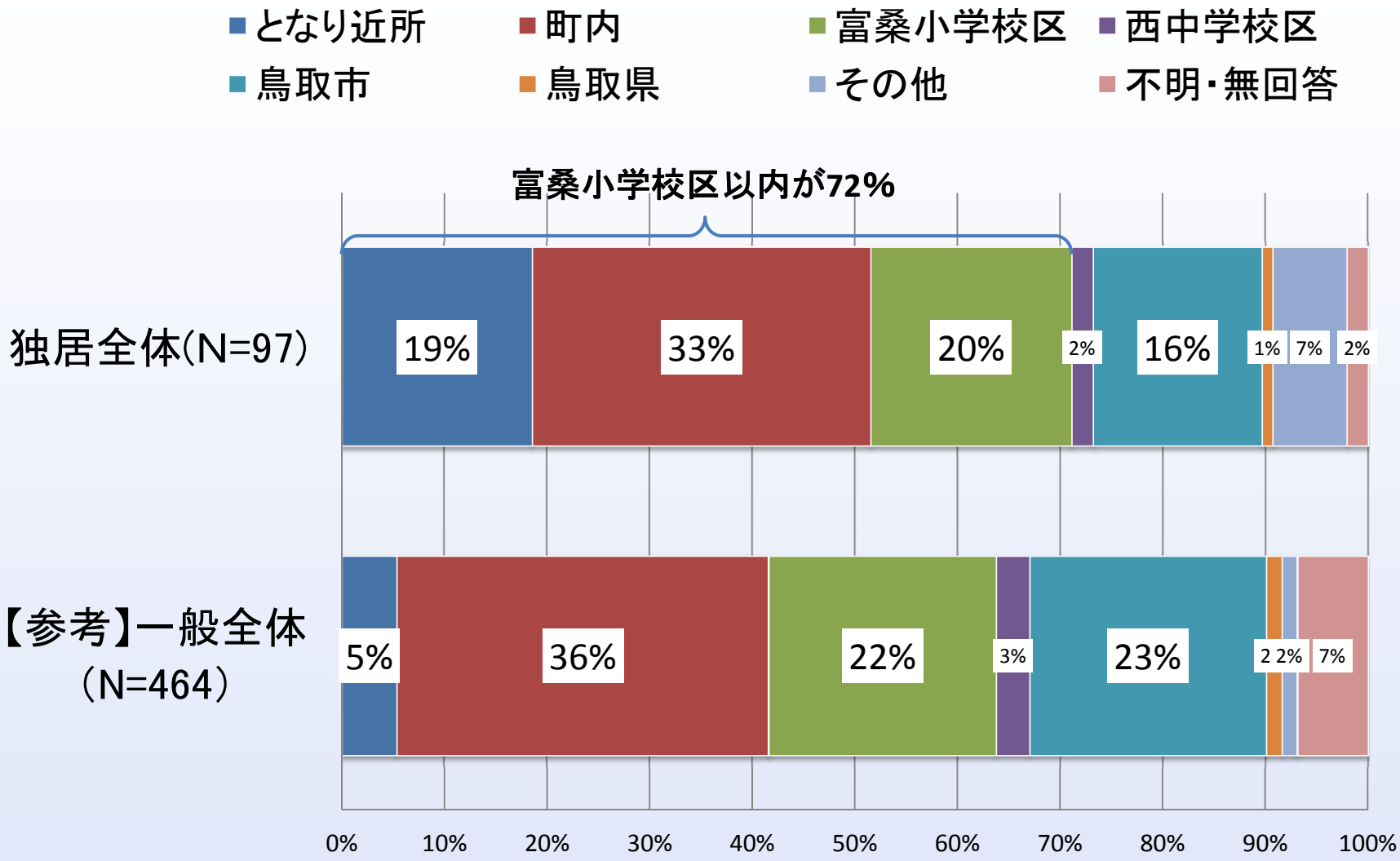
（2）独居高齢者（民生委員把握 122名）への
聞取り調査
122名のうち有効回収97票／回収率79.5%

＊独居高齢者の孤立傾向と地域のつながりの
希薄化が鮮明に

独居高齢者の生活課題

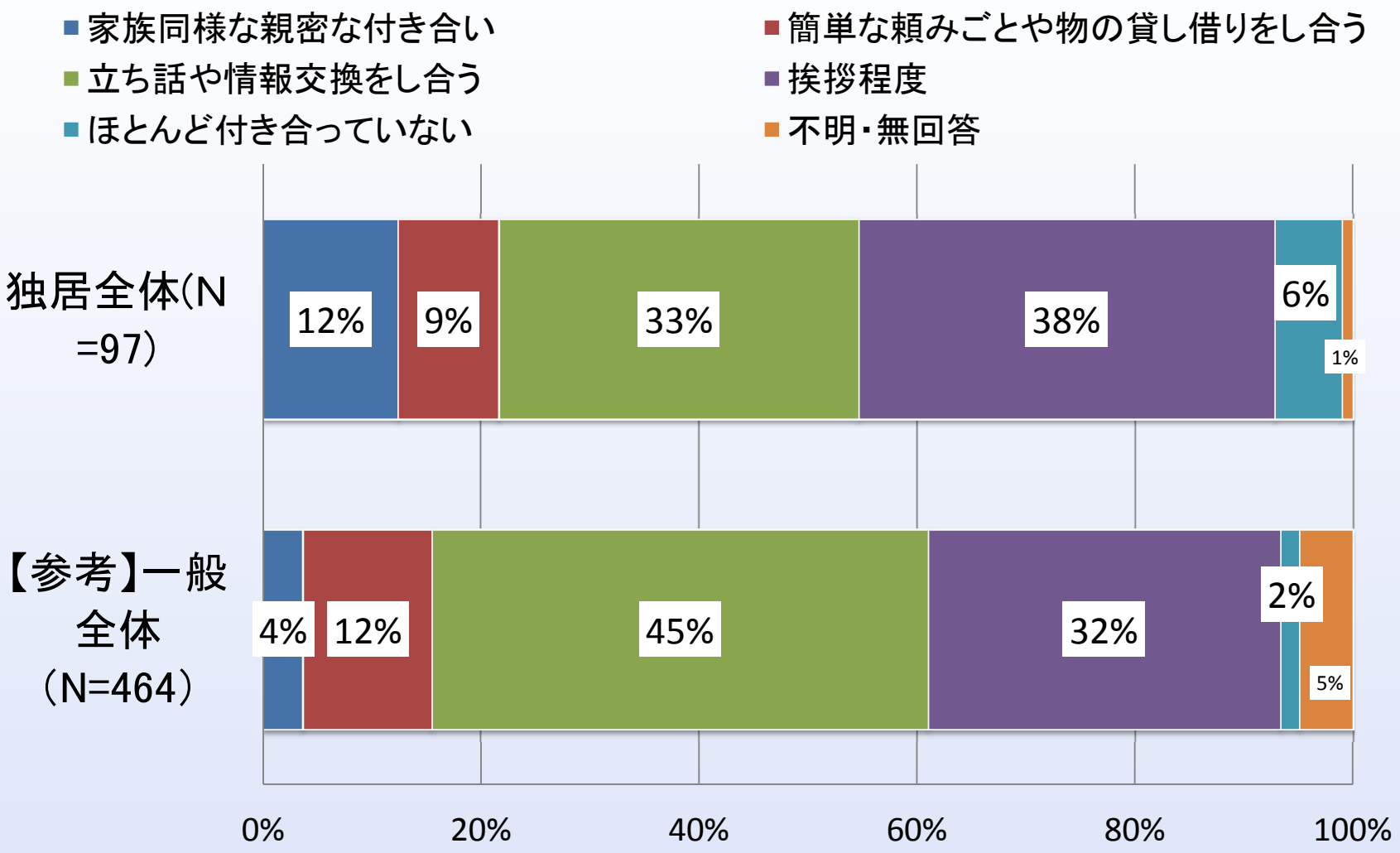
Google マップ - ©2012 Google

住み慣れた地域の範囲


となり近所
町内
富桑小学校区
西中学校区
鳥取市
鳥取県
その他
不明・無回答
富桑小学校区以内が72%
独居全体(N=97)
19%
33%
20%
2%
16%
1%
7%
2%
【参考】一般全体
（N=464）
5%
36%
22%
3%
23%
2 2%
7%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%

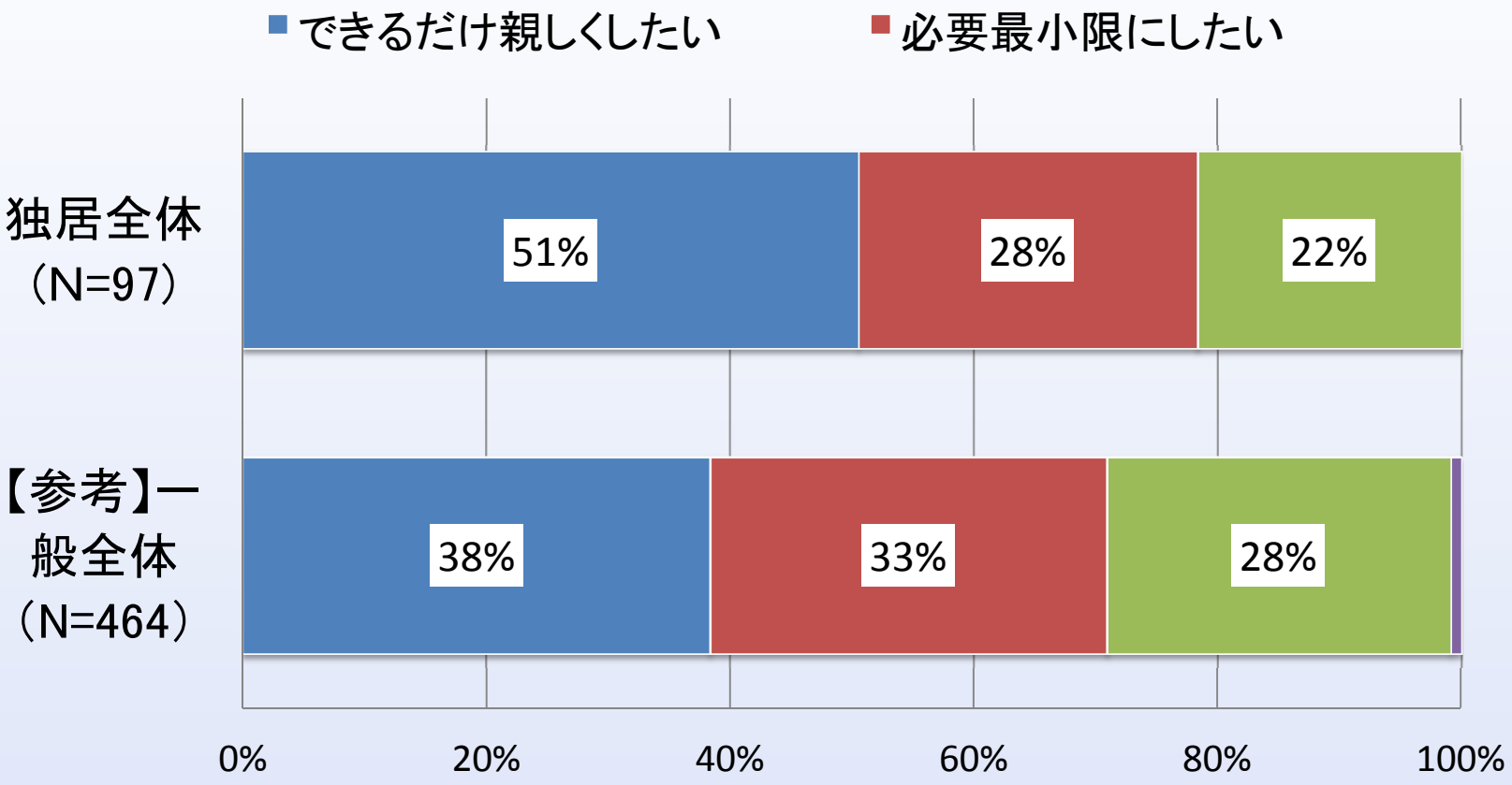
近所付き合いの状況

（1）付き合いの程度（一般との比較）



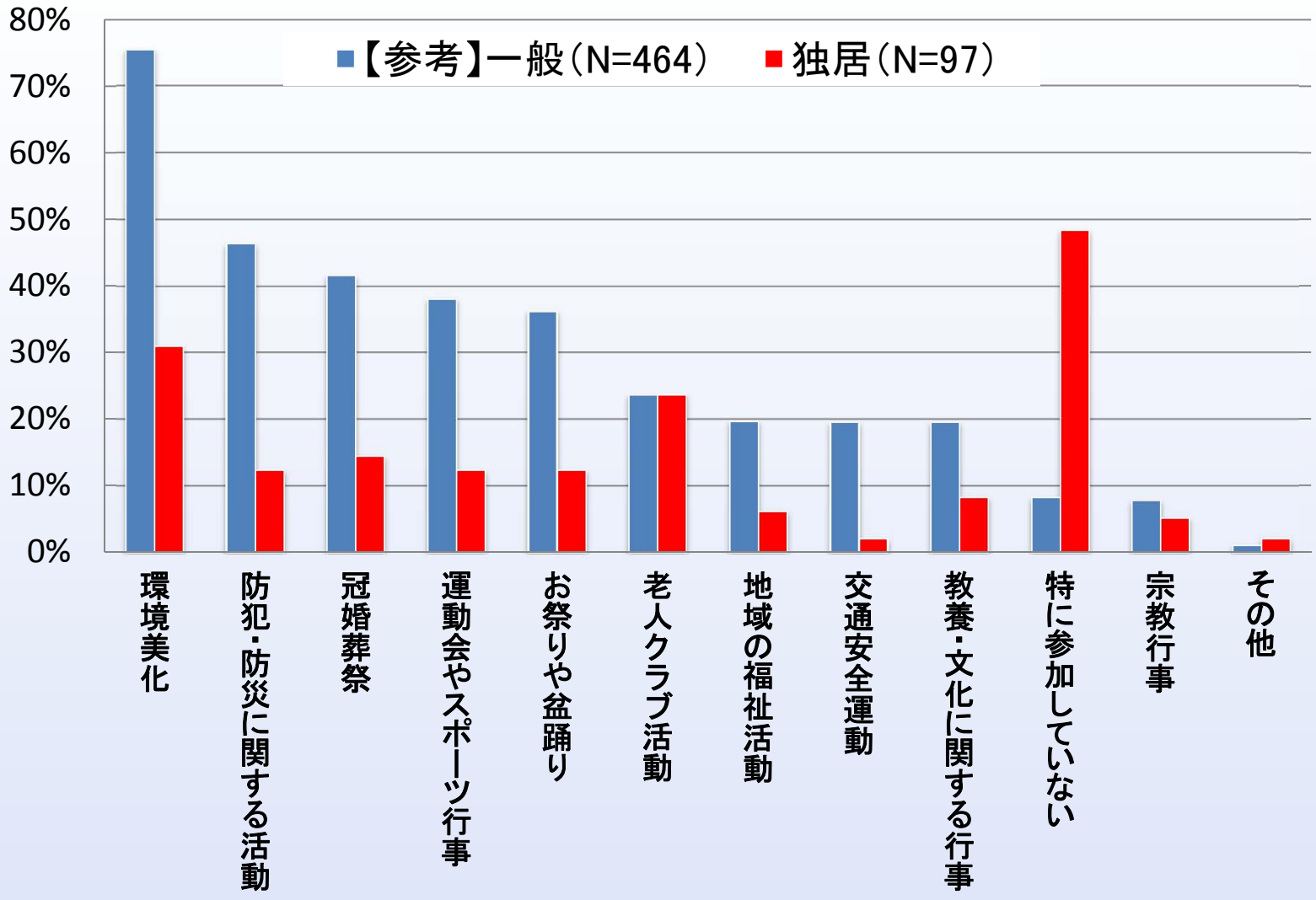
近所付き合いの状況

（2）今後近所付き合いをどうしたいか（一般との比較）



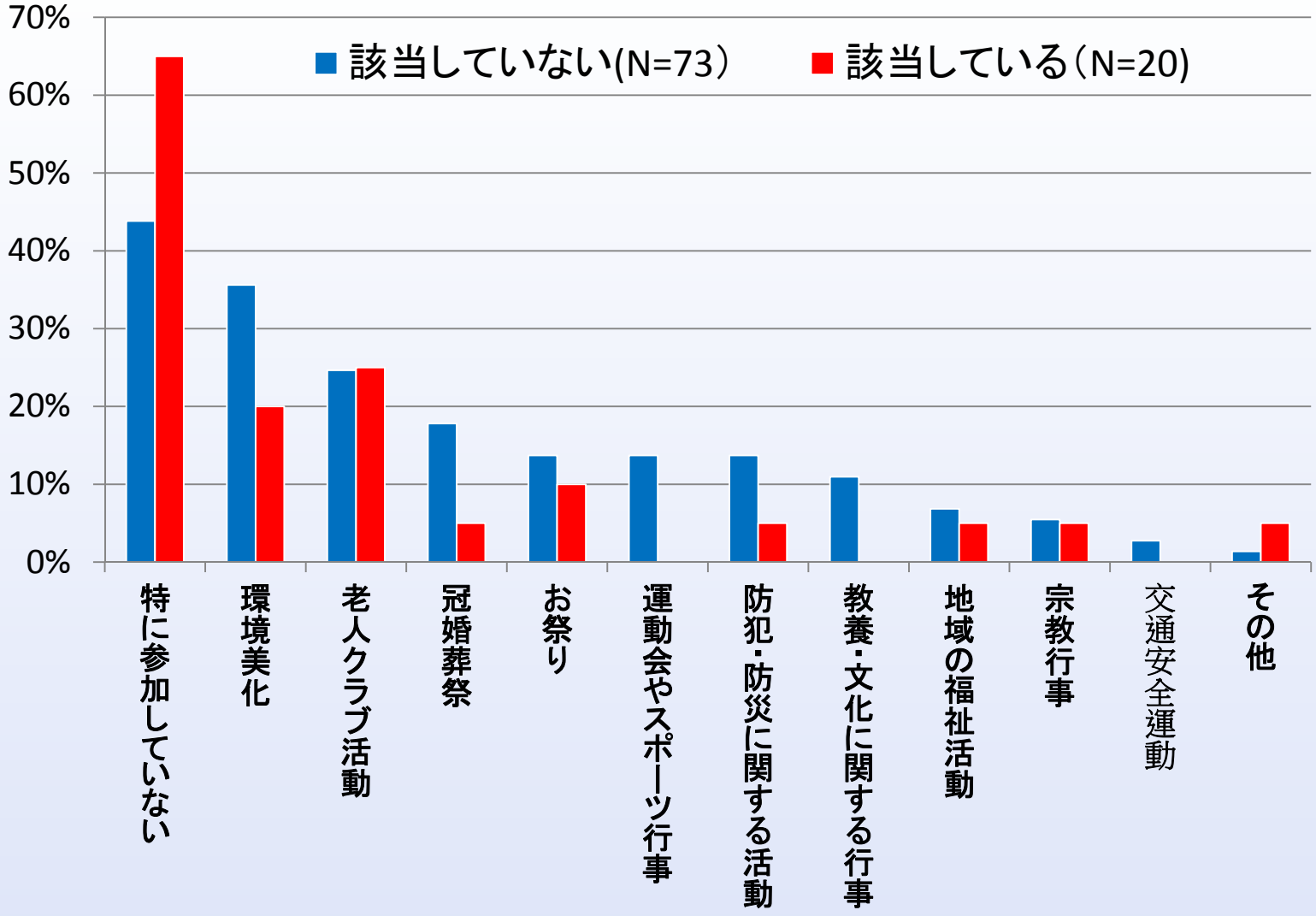
参加している地域の行事

（1）一般と独居高齢者の比較（複数回答）



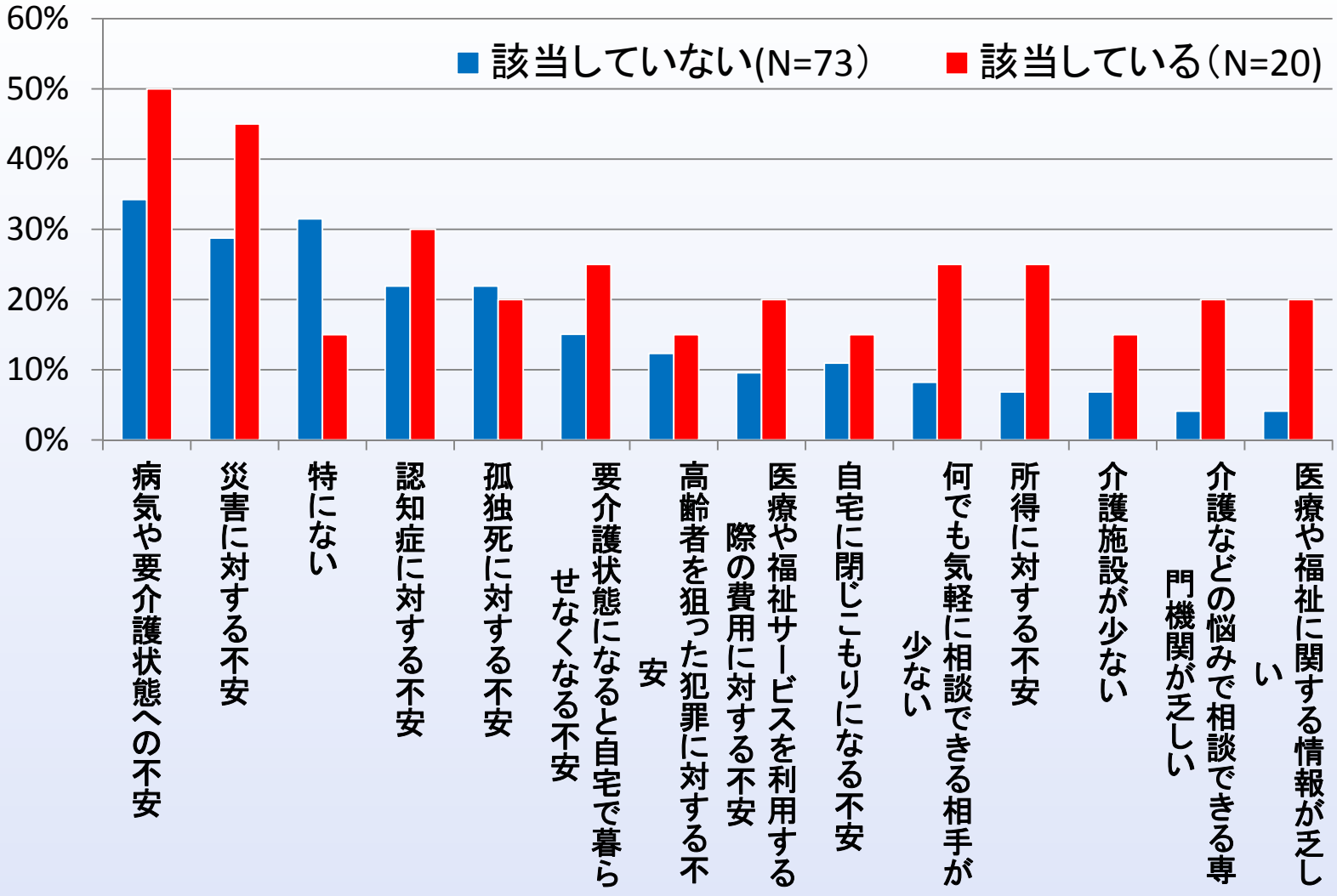
参加している地域の行事

（2）要支援・要介護の該当・非該当による比較



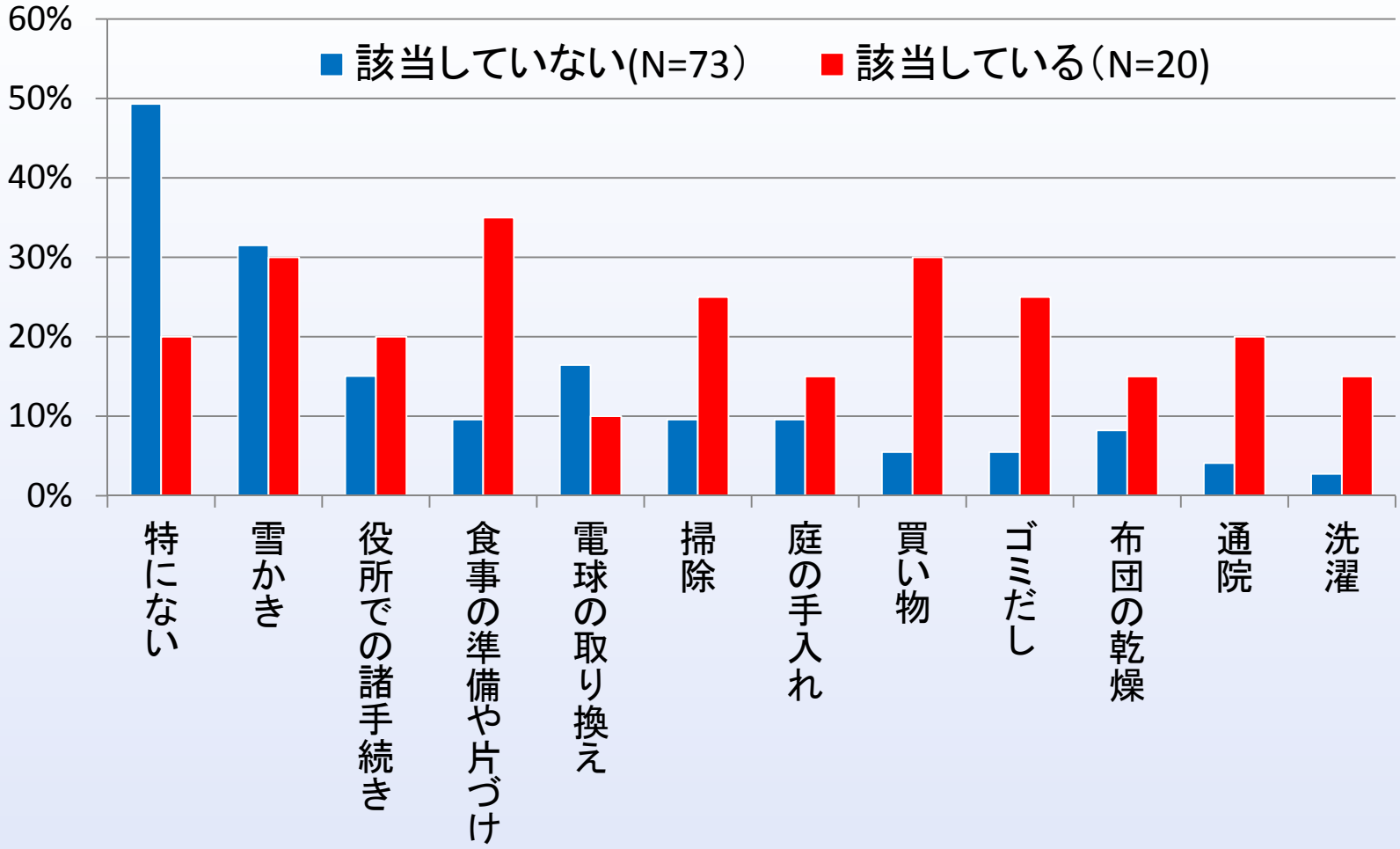
日頃不安に感じていること

◎要支援・要介護の該当・非該当による比較

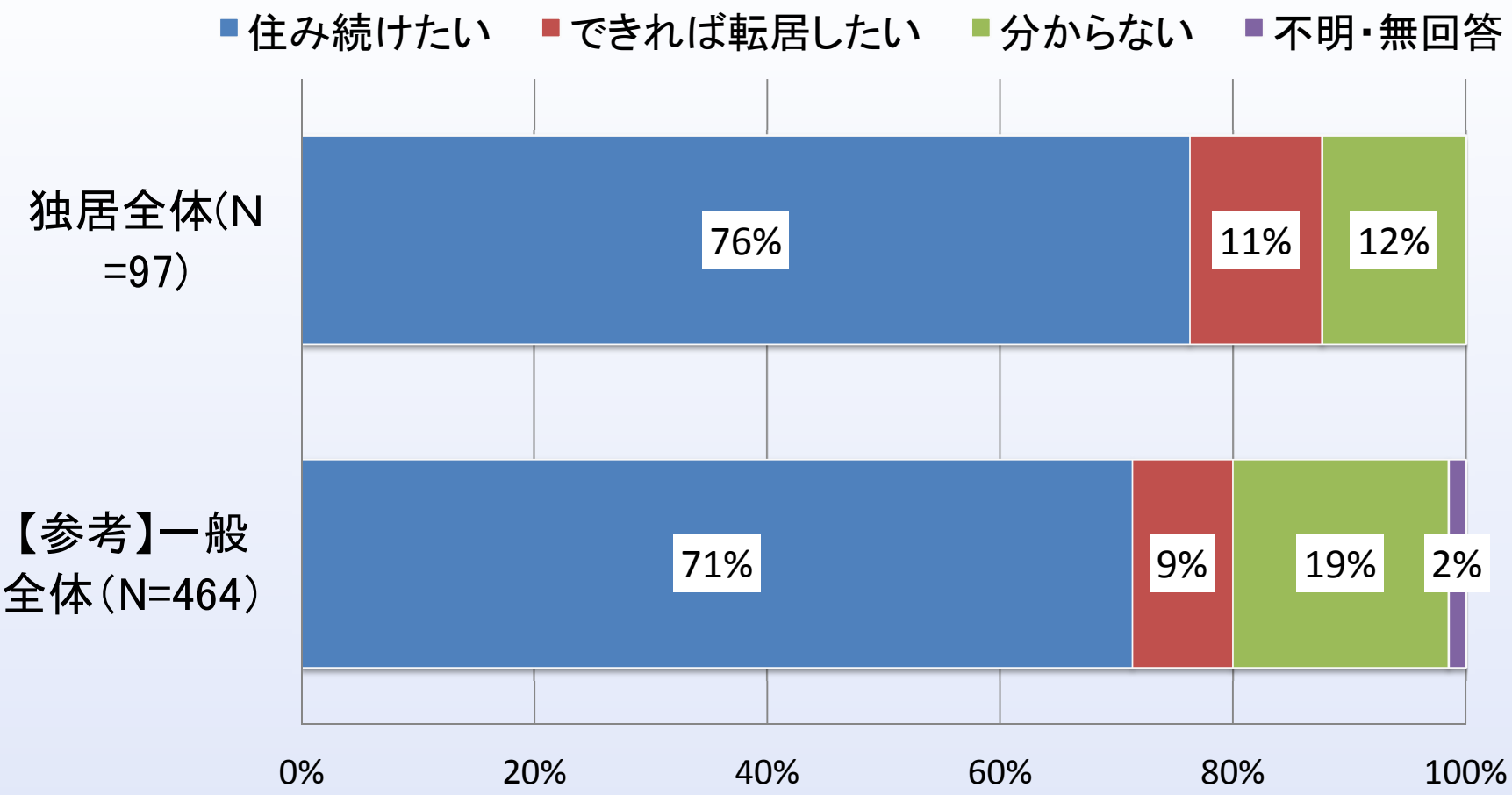


日常生活で辛いと感じていること

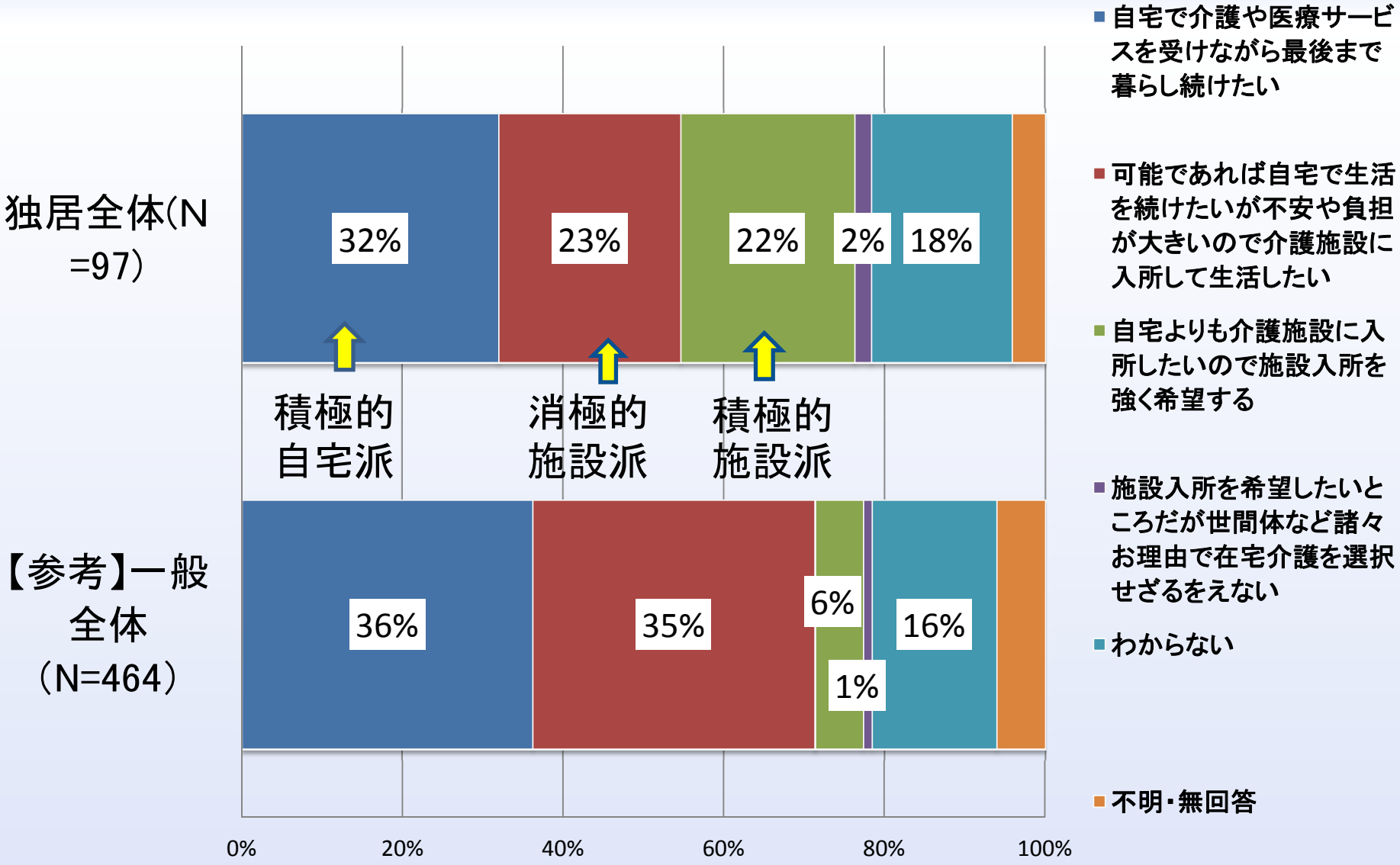
◎要支援・要介護の該当・非該当による比較



地域に今後も住み続けたいか



要介護になった（重度化した）時の対応



独居高齢者の生活課題

◎孤立化・閉じこもりを防ぐ地域での交流や見守り活動の充実が必要。とりわけ要支援・要介護状態にある独居高齢者は孤立傾向が強い。

◎地域に住み続けたい人が多数を占める反面、要介護になった場合は施設入所を希望する人が一気に増える。地域共生社会を考える上で、この矛盾と真摯に向き合う必要あり。

◎既存のサービスの周知を進めるとともに、きめ細かな生活ニーズに対応する新たな支援の仕組みを構築する必要がある。

◎災害時要援護者になりやすい独居高齢者については避難支援も十分検討する必要がある。